

## ごあいさつ

第1学年主任 中山徹也

71回生、赤の学年の学年主任を務めます、中山徹也よりごあいさつ申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力頂き、誠にありがとうございます。71回生に対し行っている教育活動やその理念について、ここで簡単に紹介させていただきます。本校に興味のある方々への情報源として一助となれば幸いです。

本学年では、「未来の創造者たれ！全体の奉仕者たれ！」という3年間の目標を設定し教育活動に当たっています。「生徒達には、高い理想を掲げその達成のために努力し、夢を叶えて欲しい。しかし、そこでは、自己の利益にのみ専念し、他者を無視してはならない。他者からの信頼があるからこそ託される仕事があり、他者に還元され認められるからやりがい生まれる。モラルに厳しい昨今、前者と後者は一体のものである。」という理念の下、グローバルリーダーとして相応しい人物を育てたいと考えています。

これに対応し、この1年を「世の中と己の有り様を知り、自己のスタイルを確立する1年」と位置付けています。特に力点を置いていることは、「習慣」「継続」です。挨拶・奉仕等の人として身につけるべき習慣は当然として、学習においても単に平均学習時間を上げるだけでなく、「1日3時間以上」を目標に、やらない日を作らない継続的な努力を求めています。人間の長期記憶の体系を考えても自然なことで、「脳が忘れる前に繰り返す（復習する）」しか方法はありません。休日に学習時間を稼ぎ帳尻を合わせる方法よりも、日々の継続を重視するよう指導しています。

また、赤の学年では、1年次に学年行事を取り揃え、「世の中と己の有り様を知る」指導に当たっています。環境学習の一環で行う7月31日～8月2日実施の共同宿泊学習（1年次に宿泊学習を実施するのは赤の学年のみ）では、中日に赤の学年恒例の「尾瀬ヶ原・尾瀬沼散策」を行い、肌で雄大な自然を感じながら環境保全の重要性を学びます。生徒主体でプランニングするクラス別行動もあり、実学を通して計画性、リーダー性、コミュニケーション力を学んでいます。11月22日実施の企業・研究所訪問では、東京方面の企業（官庁を含む）とつくば方面の研究所を訪問し、「世の中の有り様」を学びます。少人数の班で実施しているため、各々が当事者意識を持って取り組めるのが特徴で、好評な行事の1つです。このHPをご覧ください。11月22日にご協力頂ける方がいらっしゃいましたら、ご一報下さい。他にも、進路講演会（2回）、OBOGガイダンスなど、「世の中と自分の有り様」を考える進路行事を用意しています。将来を考え、自分の目標をより具体化し、今成すべきことは何かをしっかりと感じて次のステップに進んでもらいたいと考えています。

また、1年次には、SGH活動（詳細は別ページ参照）の基盤となる「国際・グローバルキャリアデザイン」の授業があります。今年でSGH実施3年目を迎え、全学年がSGHに参加する完成年度となりますが、「SGHの活動に積極的に参加したい」という生徒が増えており、活動の発展に我々も期待しています。活動の後半では、高いプレゼンテーション能力を求めています。「①ハイレベルな授業を展開する教科の英語」、「②積極的発言が求められる上記の進路行事」と共に、国際競争力とコミュニケーション能力を育成する3本柱となっています。これらの活動を通して精神面も含めた生徒達の成長を期待しています。

高校生活では、学習面のみならず、思うようにいかず悩むことも出てくるかと思えます。そこで保護者の方々の多くが悩まれるのが、「保護者の立ち位置」です。本校では、「自立」と「自律」を生徒達に促しています。何もかも前に出て助けてしまうことは、彼らの成長に繋がりません。保護者の皆様には、そっと見守り、子供達が求めてきたときに何を助言するかを日々考えて頂くのが良いのでは、と提言させて頂いています。何かの折には、学年のスタッフに遠慮なくご相談頂き、ご家庭と学校がタッグを組んで、同じ方向性で子供達に対応してあげることが、彼らにとってとても大切だと考えています。

企業・研究所訪問を始め、本校の教育活動では、様々な方々のご協力を得て成り立っております。特に、卒業生の皆様、地域の方々には幾多の場面で恒常的にご支援を賜っております。その甲斐ありまして、各種教育活動の質の向上を図ることができております。この場を借りまして、厚く御礼申し上げます。子供達の成長のために、学年団一同全力で取り組んで参りますので、今後ともご協力のほどよろしくお願ひします。